ミニカワしんぶん！

第4号！
第0004号
2020年（令和2年）11月1日発行

オンラインミニカワサキがすすんでいます！

会場開催ができなくなったこどものまちミニカワサキ。こども運営メンバーはオンラインでやってみよう！と色んなチャレンジをしています！オンラインミニカワサキについて紹介します。

マイクラミニカワシティをつくっています

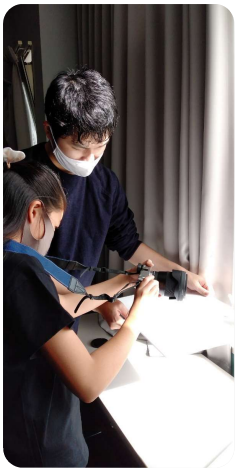
マインクラフトというオンラインゲームをつかって、ミニカワシティをつくっています。マイクラなどをつかって、プログラミングを教えている森博樹さんにインタビューさせていただき、誰にとっての街か、どんな街にしたいかコンセプトを考えようというアドバイスをもらいました。
アドバイスをうけて、実際に街を歩いて、どんな街にしたいかかんがえました。今はみんなに意見をもらいながら、建物を増やしているところです。
（マイクラチーム　ゆうき、えいが、りくと、はるき、たいよう）

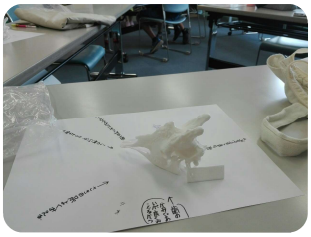
これまでに作った建物を紹介する動画、是非見てみてください→

ミニカワサキオンラインショップ★11/21（土）～12/6（日）開催！

ミニカワサキのオンラインショップを、11月21日（土）から12月6日（日）までオープンします。こども運営メンバーが店長になって、自分のお店をだします。子ども達のやりたい！を大人スタッフの得意分野を活かして実現・・・！はじめての試みで、どうなるかわかりませんが、新しいこどものまちのやりかたのひとつ！ぜひ、あそびにきてください。詳しくは、ミニカワサキのホームページで発表します。（オンラインショップチーム　ことね、ひかり）

カッコいい写真とれるようになりたい！9/27（日）写真の撮り方講座





オンラインショップを開催する前に、かっこよく商品の写真を撮れるようになりたい！去年、一昨年とミニカワサキ当日の子ども達の写真を撮りに来てくれた、カメラマンなど色々な活動をしている斎藤和輝さんに、写真の撮り方講座をやってもらいました。

角度・高さによって写真が変わることに驚きました。光はライトと太陽光では光り方や影のでき方も違っていたのでどこをポイントにするか？撮る人・見る人で変わって見え方が違って面白かったです。撮影するものの下に敷く物も紙と布でも違い、色も変えると印象が変わりました。全部を考えてその商品をよく見せるのはとても難しかったです。（りさ）

ワークショップの様子を動画にしましたので、是非見てみてください。（動画制作　なごみ）

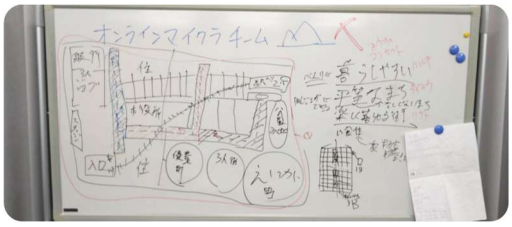
ミニカワしんぶん！は、「こどものまちミニカワサキ」運営メンバーがつくる活動紹介誌です。2日間のイベント「こどものまちミニカワサキ」をつくるために集まった運営メンバー、コロナ禍でも続けている活動を紹介し、来年のミニカワサキ開催に繋げるため、ミニカワしんぶん！をつくりはじめました。
ミニカワしんぶん！はホームページでもご覧いただけます

後援：川崎市教育委員会
令和2年度かわさき子どもの権利の日市民企画事業
助成：令和2年度かわさき市民公益活動助成金
ステップアップ30助成
発行：こどものまちミニカワサキ2020実行委員会
minicity.kawasaki@gmail.com

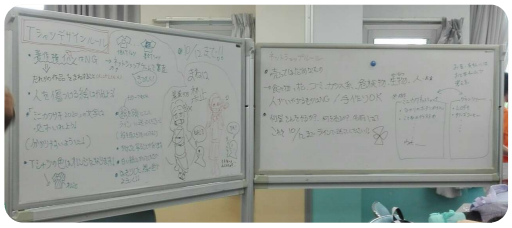
オンラインミニカワサキができるまで（中編）

こどものまちミニカワサキ2020は、会場開催を断念することになったあと、子ども達発案で
ミニカワサキのオンライン企画をすすめています。初めてのとりくみに試行錯誤を繰り返しています。
オンラインミニカワサキができるまでを紹介します！次回後編で完結するのでしょうか…！？

マインクラフトのまちづくりにあたって、マイクラスクールの森さんにアドバイスをいただきました。「どんな街にしたいか」「誰に来てもらいたいか」コンセプトを大事にしようと教えていただき、ゼロから街をつくってみよう、ということをきめました。



ゼロからつくるなら、身近な武蔵小杉のまちから発想してみたい、と実際に街歩きにいきました。SDGsのことも大切に考えながら、つくりたい街を構想していきました。



自分でつくったものを売ることができる！というのも、こどものまちの魅力。やれるんだったらやってみたい！８月末から、オンラインショップチームがスタート。こちらは大人スタッフのアイディアから、インターネット上で売り買いできるフリマサイトを使ったネットショップ実現に向けて動き出しました。

オンラインショップで商品を売るためには、「魅力的な商品写真」でないと！そこで、例年ミニカワサキ当日の写真を撮りに来てくれていた齋藤さんに写真講座をやっていただきました。

つづく…！

こどものまちミニカワサキとは こどもの こどもによる こどものためのまち！

こどものまちミニカワサキは、18才以下の子ども達が、子どもだけのまちをつくるプログラムです。年に1回、2日間の「こどものまちミニカワサキ」を開催、その準備のためのこども会議、運営会議を行っています。

①自分のまちを知り、好きになるこどもを増やすこと
②子ども達が、いろんな世代の人とコミュニケーションの機会になること
③参加するこどもの成長を支え、見守ることにより、大人も成長すること
④川崎のまちづくりや子育てに興味を持つ市民同士が繋がる機会になり、まちの底力をあげること

の4つを目的に、想いを共有した市民が、個人として自由な繋がりで行う市民活動として2018年にスタートしました。当初は大人が運営し、子ども達が参加するカタチでスタートしましたが、2020年度からは、子どもが運営メンバーに加わり、全体の運営、仕組みづくり、広報宣伝、渉外などを大人と子ども共同で行っています。